

市民がすすめる2つのエコプロジェクト

環境・福祉・学びあいの仕事おこし

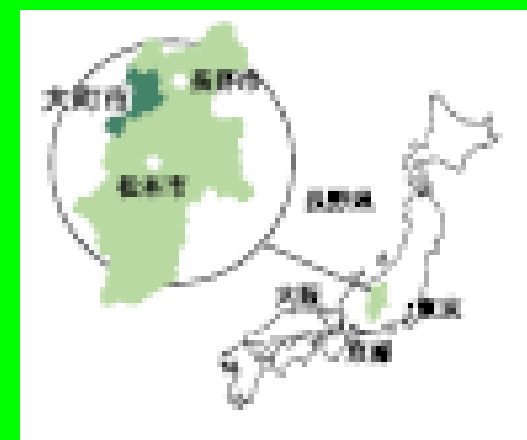
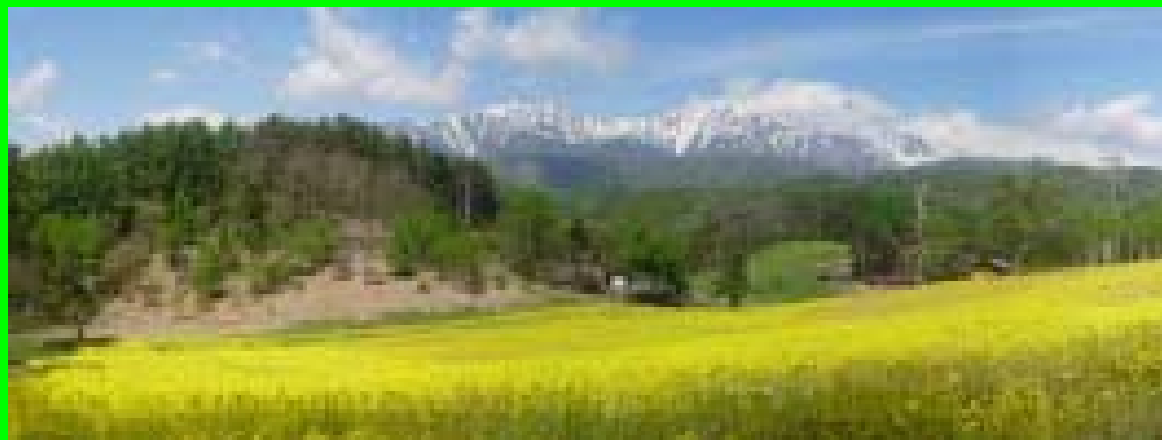
NPO地域づくり工房

長野県大町市

くるくるエコプロジェクト



菜の花エコプロジェクト



私たちのNPOがめざすもの

- **市民からの地域おこし**

※行政まかせではなく、
自分たちの力で地域づくりをしよう

- **地域の資源をいかそう**

※見すてられていたものを、
新しい地域づくりの資源にしよう

- **まずは挑戦してみよう**

※提案するだけではなく、
実際にやってみることで変えていこう



仕事おこしワークショップ
から2つのエコプロジェクト
が生まれました。

くるくるエコプロジェクト

先人が築いた水路を資源に



市内可住域を流れる
水路は220km

くるくるエコプロジェクトがめざす地域の姿

3つの個性的な 水力発電実験所

企業や農家、熟練技術を持つ
退職者などのご協力で順調に
すすんでいます。



家庭の電力の
3割を補給

川上水力



ビニールハウ
スの電力補給

小西水力



野猿対策電策
で威力発揮

駒沢水力

エネルギー環境学習の推進

子どもたちにミニ水力発電について体験的に学ぶプログラムを開拓し、提供しています。



市民事業への挑戦

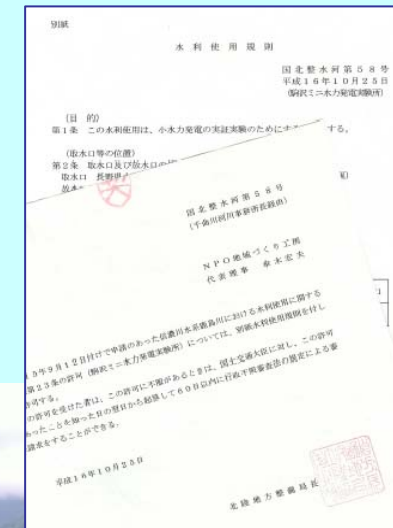
観光地にふさわしく「見て楽しいミニ水力」へ

観光施設へのサービスサイジング型業務の開拓

- 省エネ化の支援
- エコツアーの誘引

市民出資型プロジェクトへ

- 集落発電への協議
- 市民債の検討



水利使用許可書



今年9月末に稼動したクラシック水車発電

菜の花エコプロジェクト



東京の市民事業と連携して、地域の魅力を発信し、観光地らしい事業をめざしています。

大系タイムス
OHITO TIMES

発行所 ©大系タイムス社
〒398-0002 長野県大町市保町1851
TEL 0261-22-2110 FAX 0261-22-2111
フリーダイヤル 0120-045245
購読料1ヵ月1,700円(消費税別) 1部 80円

大町市の地域
づくり工房

環境に優しいエネルギー造り

廃油回収を依頼

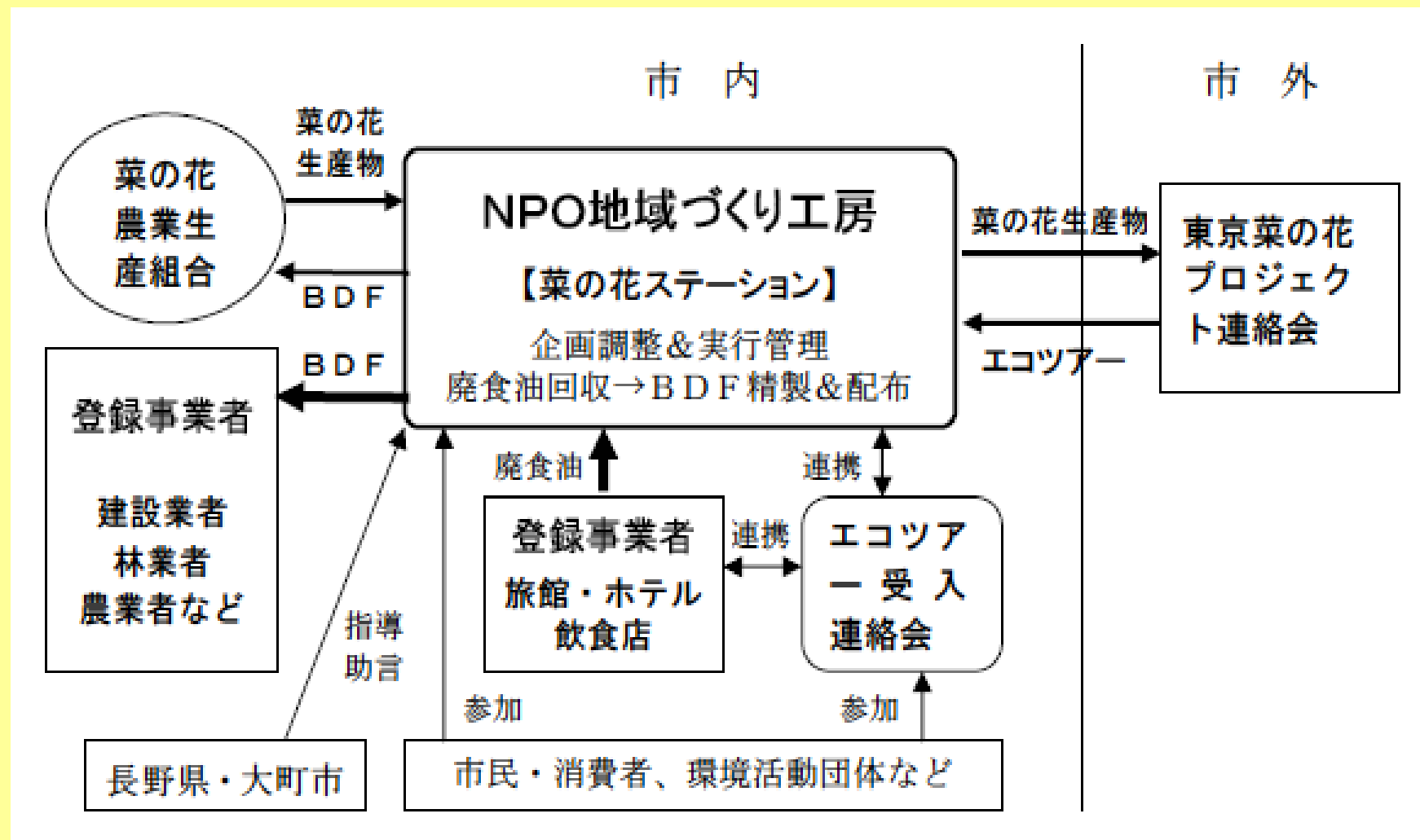
大町市内の飲食店を回り廃油の回収力を依頼

本紙購読申込所

信濃西部	0261-22-1400	松川市日	0261-62-4008
信濃中部	0261-22-0503	信濃市日	0261-72-2024
信濃大町	0261-22-4764	信濃新町	0261-62-2021
信濃大町	0261-22-1377	信濃信濃	0261-63-7878
信濃中部	0261-22-0703	信濃信濃	0261-62-2409



実行体制



食廃油の回収

事業種類		営業規模	回収方法		回収実績 (缶/月)	回収回数 (回/月)
			訪問	持参		
宿泊系	ホテル 6	収容1306名	6	0	55	1~2
	旅館 3	収容 138名	2	1	7	1
	民宿 1	収容 30名	1	0	0.5	0.5
	10	収容1474名	9	2	62.5	約1,100%
店舗系	飲食店 6	収容 305席	2	4	16	1
	食料品 2		1	1	14	1
	8		3	5	30	約 500%
公的機関	病院食堂 1	収容350人	0	1	4	1
	職場食堂 2	収容110席	0	2	3	1
	3	収容70人	0	3	7	約 100%
白馬エコスキー場研究会		白馬村内の4スキー場	0	1	6	約 100%
合計 22件			11	11	105.5	約1,800%

バイオの生産 & 利用

認可 大系タイムス 平成17年(2005年)11月4日(金曜日)

菜の花エコ軽油実用化

大町の建設業者で導入普及へ

大町のNPO地域づくり工房(傘本宏夫代表)の進める廃食油をバイオ軽油にリサイクルする「菜の花エコプロジェクト」で、同市の野口建設(工藤昌秀社長)はこのほど、市内で初めて、重機や索道機に再生軽油を導入した。他の市内建設業者や農家にも利用が広がっており、環境にやさしい燃料の普及に明るい兆しが見えてきた。

同プロジェクトは地域の農家が菜の花を生産し、製油後に飲食店などで食用油として利用後、同NPOがバイオ軽油に再生して、菜の花栽培の農機具などに活用、さらに、このエコ燃料を他の業種にも提供することを目指す。環境省はこのほど、「エコ・コミュニケーション事業」に採択した。

同社は10月から、市内社の台風炭吉穂田工場の現場で、バイオ軽油を導入し、約1か月で、全体の消費量のうち8分の1にあたる10リットルを使用した。現場でPRの看板を設置する工藤さん

この工事は、人と環境にやさしいバイオ軽油を使用しています。

みんなで止めよう温暖化 チームマイナス6%

場には「菜の花軽油」の使用をPRする看板も設置した。重機などで問題はなく、従来の軽油に比べ、黒煙が少なく、社員にも好評で、工藤さんは「環境にやさしく、トラフルもないので、継続し、普及させたい。ただ、排気でんぶらの香りがするのでお腹がすくのが悩み」と冗談交じりに話した。

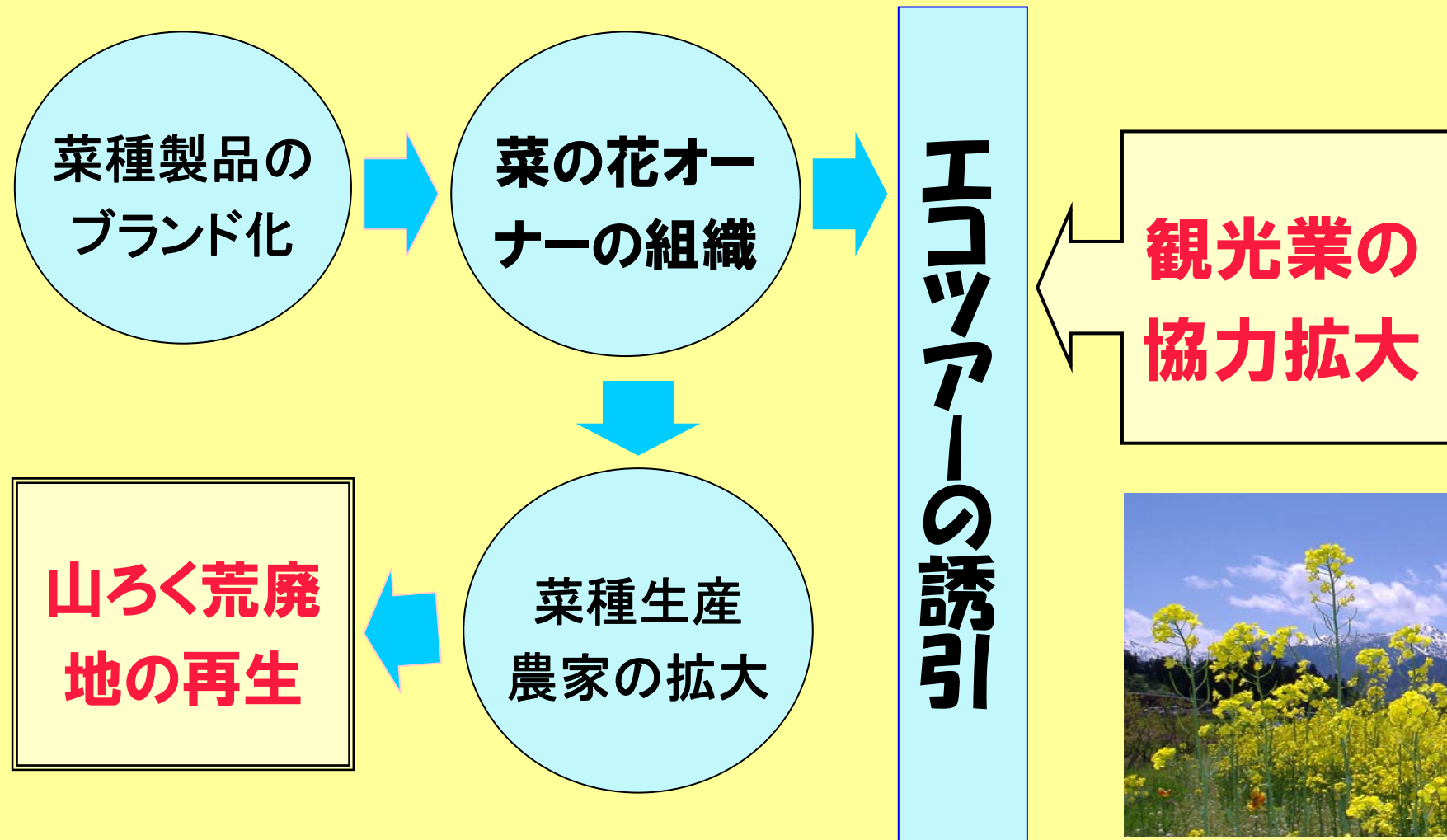
同NPOは今後、生産から再生、再利用まで、流通の体系を整備する予定で、12月には同事業を含む市内の環境保全につながる新エネルギーの取り組みを小学生が見学するイベントも計画している。

公道以外での利用で、地域づくりに役立つBDFとしてPRしています。



菜の花畑もBDFで

菜の花オーナー



なたねオイルで食油文化の再生

ブランド化への演出



手づくり、搾りたて。素晴らしいシステム（石鍋シェフ）



昨年2月の試食会

BOBOs by
QUEEN ALICE



昨年5月の「菜の花畑でピクニック」

東京の仲間と連携しながら、貴重ななたねオイルを効果的に普及していく作戦をすすめています。

全国菜の花サミットin信州・大町

2008.5/17-18 ぜひお越しください！



テーマ
食油文化の再生



ゲスト
石鍋裕シェフ

CO₂ 削減効果と将来目標

実績

ミニ水力発電による削減量

3,211kg-CO₂/年(8,496kW年を換算)

BDF利用による削減量

44,410kg-CO₂/年(16,800ℓ/年を軽油換算)
(2つのエコプロジェクトの計:47,621kg-CO₂/年)

菜種生産による荒廃地解消 12ヘクタール

平成18年度長野県農業構造政策推進活動功績者表彰知事賞(遊休農地解消機関・団体等の部)受賞【菜の花農業生産組合】

10年後の目標

ミニ水力発電を10ヶ所に。(約44,000kW年)

市内の全食廃油をBDF利用に。

(約34,000ℓ/年)

春の大町の景観を菜の花で彩る。(約100ha)

资料来源：根据《中国统计年鉴》、《中国农村统计年鉴》和《中国人口统计年鉴》有关数据整理。



三二水力発電見学と定食バスもくちゃん環境体験会

大町市では、市民地球館が自然の恵みや暮らしのよさを伝えることで、自然環境の保全を図り、エネルギーをつくる活動をするので、自然エネルギーが、自然環境の保全につながる。地球温暖化防止にどう役立つのか、実際に、自然環境の保全とエネルギーの生産とを一緒に考えてみませんか。

- と き 12月10日(土) 午後10時～午後2時30分(開演30分前)
- 場 合 セブサンプール・ホール(大塚市下井町、旧セブ・ホール跡)
- 観 覧 料 各自由に決まっています。

西井当0.00日, 世世+1.00日, 总天下0.00日

- 対象者 小学校4年生以上(大人も参加)
- 定 員 20名(定員にない人数参加可)
- 内 容 ①3つのミニ水力発電の見学

② ほかの「体験」として「こもくちやんの音楽体験」
③ 占てん、おらねをバイオ観察に替える場面、見せ
る動物でモルギーに関するクイズと解説

- 二宮内 NPO財団の設立、本アムズ・バスターマコト等による



史書/又巻く古事記
新編 新編 新編

© 2004 Blackwell Publishing Ltd, *Journal of Internal Medicine* 255: 103–110
 ISSN 0954-6820

■ 1:00~1:30 ■ 1:30~2:00
■ 2:00~2:30 ■ 2:30~3:00

参考文献 1. 王树理, 李永刚, 孙永刚等. 中国城市人口老龄化与养老服务需求预测[J]. 人口研究, 2016, 40(1): 7-18.

聯絡處：廣州一德路141號一樓聯誼會
 電話：8611181（江門聯誼會秘書處）
 江門聯誼會地址：廣東省江門市中區下川
 橋頭路111號（江門聯誼會秘書處）
 18120081118（江門聯誼會秘書處）

[illegible]

NPO法人（NPO）は、

Tel: 0086-0391-222-7800 Fax: 0086-0391-222-7801

Email: res@cs.cmu.edu Web: <http://res.cmu.edu/>

エコツアーの振興

大町のエコツアー受入れ連絡会

(事務局:NPO地域づくり工房)

北アルプス・バイオマスを考える会／猿ヶ城風穴調査委員会／グランドワークわっぱらんの会／南鷹狩山自然保護会／農具川環境美化委員会／千年の森自然学校／北山田桜並木のある町づくり委員会／「市民の森」桜プロジェクト／おきな草の里づくりの会／大町駅前本通り商店街組合

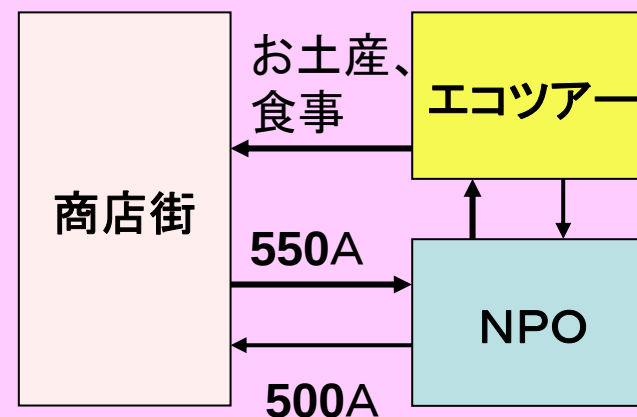


JICA研修の受入れ



環境と経済の好循環のまち
全国サミットin信濃大町

地元商店街との協働 地域通貨【アルペン】



エコツアーでの利用

地域づくり活動の「苗床」として

風穴小屋再生プロジェクト



養蚕王国・信州を支えた風穴を復元再生し、天然冷気で地場産品の個性化に役立てるため、昨年度に石積みを復元、今年度は小屋を再生し、風穴熟成ブランドの開発に着手しました。山羊チーズや日本酒、にんにくなどの熟成が試みられています。



かつての風穴小屋



崩落していた風穴



地縁組織との共同学習

地元自治会の「安心
マップづくりワーク
ショップ」に協力

地域づくり活動の「苗床」として

まちへ行こう！プロジェクト

平成18年（2006年）4月26日（水曜日）

大町市八日町の塩の道博物館でこのほど、「まちへ行こうライブ」（同プロジェクト実行委主催）が開かれた。音楽を通じて街ににぎわいをと始めたライブは今回で5回目。同博物館では初めての開催となり、築116年の同館に軽快な音楽が響いた。

いろいろ困む初ライブ

大町市まちへ行こう塩博で

ロックやポップス、クラシックやフォークなど個性あふれる個人やバンドが参加して、熱のこもったステージを繰り広げた。当日は50人を超える観客が訪れ、体でリズムをとったり、手拍子を送ったり、会場ではいろいろの火もたかれ、温かな雰囲気は進んだ。同プロジェクトのためにつくられたオリジナル……

いろいろを囲み音楽を楽しむ参加者

ル曲もセッション形式で演奏され、潮風の拍手を添えていた。ライブは、昨年9月の中央商店街の火災を受けて、町に活気を取り戻そうと、バンドサークルらの有志が集まって始めた。同実行委事務局では「塩の道と音楽、大町ならではの組み合わせです。次回7月に開催するのでも、ぜひ足を運んで」と呼びかけている。



2周年ライブ「僕らのグランドゼロ」



街なかの空き店舗を使ったライブ

2005年2月の大町市中心市街地での大火をきっかけに、利用する立場から「街なかの再生」を演出していこうと、音楽仲間のよびかけで始まったプロジェクトです。本会は事務局を担っています。

地域づくり活動の「苗床」として

みずほプロジェクト ～2017年の木崎湖も美しく～



背景原画展をきっかけに地域社会とアニメファンの交流が生まれました

アニメ番組「おねがいシリーズ」に美しく描かれた木崎湖を、舞台設定である2017年も美しく保全していこうと、地元関係者とアニメファン有志によるプロジェクトが発足。独自グッズを普及しながら資金を調達し、監督や声優さんなどの協力を得ながらすすめられています。

平成17年度 地球温暖化防止活動

環境大臣表彰受賞

学ぶ活動を応援します

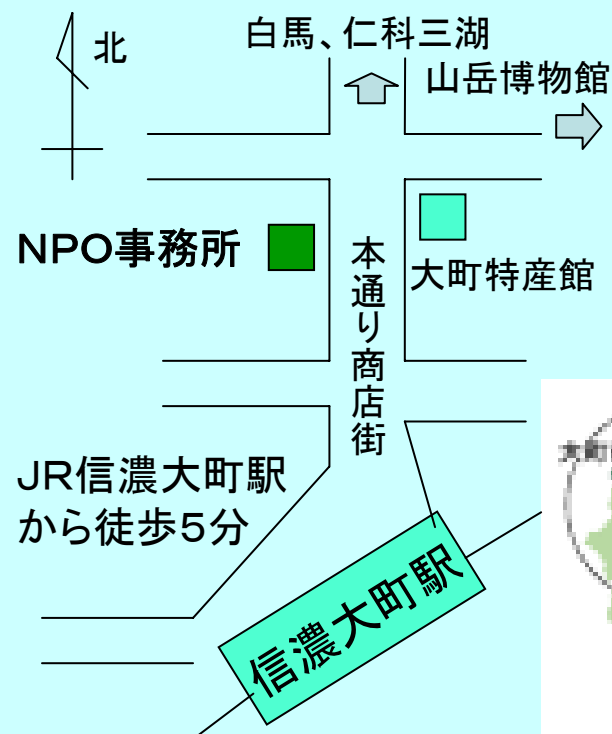
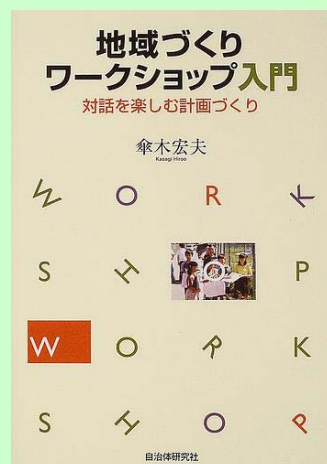
地域づくり思想の古典に学ぶ会
ファシリテーション支援
参加型アセスへの支援
市町村財政分析への支援 etc.

PRついでに・・・

ワークショップ
の具体的な手法
を紹介。

自治体研究社

1,700円



**ぜひお越し
ください！**

